

**TOYO TIRES**

**2024年度第1四半期  
決算説明資料**

2024年5月14日

**TOYO TIRE 株式会社**

**1. 2024年度 第1四半期実績**

2. 2024年度 業績予想

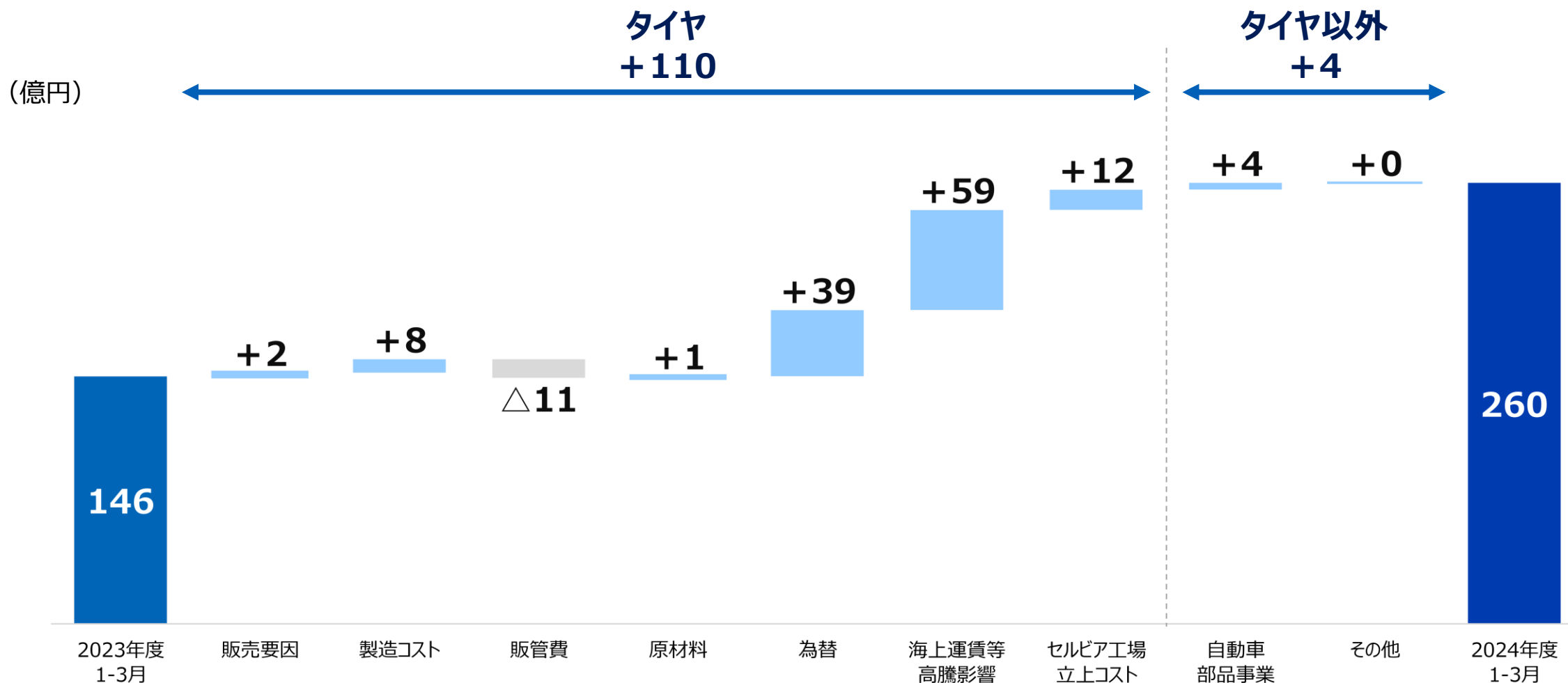
3. トピックス

- タイヤの販売本数が減少したことなどにより、売上高は前年同期より減少
- 重点商品の販売促進に加え、為替や海上輸送費など外部環境が追い風となり、営業利益は、**第1四半期としては過去最高となる260億円**を計上
- 為替差益の計上等により経常利益は**四半期ベースで過去最高となる319億円**、純利益は**第1四半期として過去最高となる231億円**を計上
- **2024年度の業績・配当予想は据え置き**
  - ・ 売上高 5,600億円
  - ・ 営業利益 780億円
  - ・ 1株当たり配当金 年間105円 を予想

過去最高とは、決算期を変更した2013年以降の業績におけるもの

(百万円)	2024年度 1-3月実績	2023年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
売上高	127,557	129,160	△1,602	△1.2%
営業利益	25,975	14,574	+11,401	+78.2%
営業利益率	20.4%	11.3%	—	—
経常利益	31,880	15,801	+16,078	+101.8%
四半期純利益	23,058	10,883	+12,174	+111.9%
※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益				
米ドル	146円	133円	+13円	
ユーロ	160円	142円	+18円	

# 2024年度第1四半期 営業利益増減要因（前年同期比）



2022年度 10-12月実績	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	2023年度 10-12月実績
127	+24	+4	△12	+20	+10	+81	+9	+4	△0	266

(百万円)

売上高	2024年度 1-3月実績	2023年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	116,566	117,955	△1,389	△1.2%
自動車部品	10,991	11,200	△208	△1.9%
その他	0	9	△8	—
調整額	△0	△4	+4	—
合計	127,557	129,160	△1,602	△1.2%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2024年度 1-3月実績	2023年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	25,654	14,613	+11,041	+75.6%
営業利益率	22.0%	12.4%	—	—
自動車部品	314	△38	+353	—
営業利益率	2.9%	△0.3%	—	—
その他	5	0	+6	—
調整額	0	0	+0	—
合計	25,975	14,574	+11,401	+78.2%

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

(百万円)

売上高	2024年度 1-3月実績	2023年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
日本	24,853	28,368	△3,515	△12.4%
北米	85,031	81,931	+3,100	+3.8%
その他	17,673	18,860	△1,187	△6.3%
消去または全社	—	—	—	—
合計	127,557	129,160	△1,602	△1.2%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2024年度 1-3月実績	2023年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
日本	21,674	8,651	+13,023	+150.5%
北米	4,305	4,866	△561	△11.5%
その他	2,136	1,329	+807	+60.7%
消去または全社	△2,141	△273	△1,867	—
合計	25,975	14,574	+11,401	+78.2%

1. 2024年度 第1四半期実績

**2. 2024年度 業績予想**

3. トピックス



# 2024年度第2四半期累計 連結業績予想

2024年2月14日に公表した業績予想から変更なし

**TOYO TIRES**

(百万円)	2024年度 1-6月予想	2023年度 1-6月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
売上高	270,000	265,457	+4,542	+1.7%
営業利益	40,000	26,673	+13,326	+50.0%
営業利益率	14.8%	10.0%	—	—
経常利益	32,000	38,761	△6,761	△17.4%
四半期純利益	21,000	29,122	△8,122	△27.9%
※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益				
1株あたり 中間配当金	50円	20円	+30円	
米ドル	141円	135円	+6円	
ユーロ	153円	144円	+9円	

(百万円)	2024年度 1-12月予想	2023年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2024年度 7-12月予想	対前年度 増減額
売上高	560,000	552,825	+7,174	+1.3%	290,000	+2,631
営業利益	78,000	76,899	+1,100	+1.4%	38,000	△12,225
営業利益率	13.9%	13.9%	—	—	13.1%	—
経常利益	68,000	86,047	△18,047	△21.0%	36,000	△11,286
当期純利益	45,000	72,273	△27,273	△37.7%	24,000	△19,150

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株あたり 年間配当金	105円	100円	+5円	—
米ドル	138円	141円	△3円	
ユーロ	149円	152円	△3円	

## 中計'21 重要経営指標

連結営業利益率 **14%超**

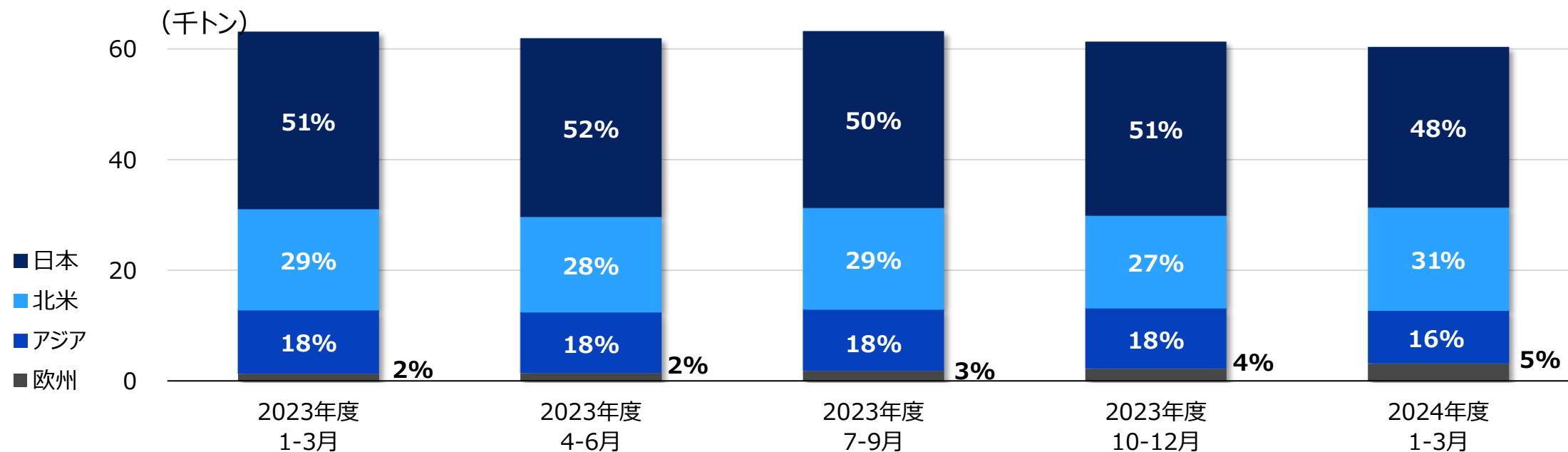
配当性向 **30%以上**

2024年度通期 為替感応度

米ドル	8億円/年
ユーロ	1億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき 9/17

## 地域別生産量構成比

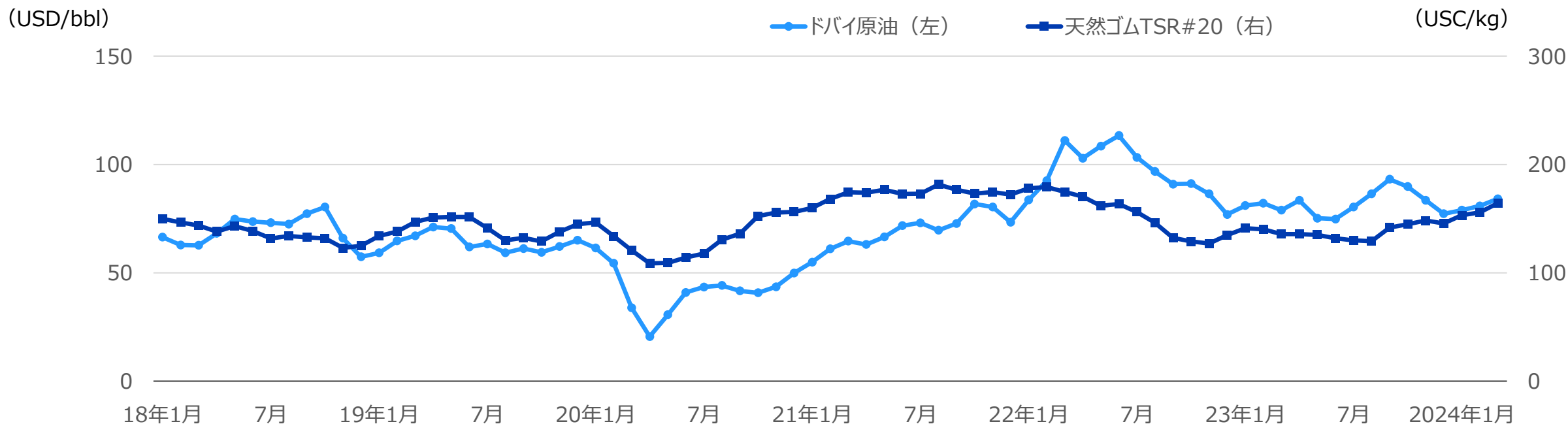


	2023年度					2024年度 1-3月実績	2024年度 1-12月予想	2024年度 1-12月 前回予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月			
日本	32.0	32.2	31.9	31.4	127.5	28.9	123.6	125.9
北米	18.3	17.3	18.4	16.8	70.8	18.7	75.8	76.2
アジア	11.5	11.0	11.1	10.9	44.5	9.6	41.0	42.1
欧州	1.3	1.4	1.8	2.2	6.8	3.1	15.2	15.5
<b>合計</b>	63.1	62.0	63.2	61.3	249.6	<b>60.4</b>	<b>255.6</b>	259.8
前年比率	102%	100%	101%	100%	101%	<b>96%</b>	<b>102%</b>	104%

※前年同期間を100とした場合の前年比率

(%)	2023年度					2024年度 1-3月実績	2024年度 1-12月予想	2024年度 1-12月 前回予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月			
国内外新車	120	122	108	108	114	<b>87</b>	<b>104</b>	107
国内市販	104	102	79	81	90	<b>77</b>	<b>102</b>	107
海外市販	107	100	103	93	101	<b>88</b>	<b>102</b>	104
北米	110	104	112	96	105	<b>93</b>	<b>104</b>	106
欧州	103	96	94	80	94	<b>71</b>	<b>94</b>	94
東南アジア	106	86	92	99	95	<b>92</b>	<b>101</b>	101
合計	108	103	99	93	101	<b>86</b>	<b>102</b>	105

## ドバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)



## 価格変動影響額 (営業利益ベース)

(億円)

	2023年度				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月
天然ゴム	+9	+20	+10	+5	+44
石化品	△30	△22	+22	+8	△22
その他原材料	△7	0	+4	+7	+5
<b>合計</b>	<b>△28</b>	<b>△2</b>	<b>+36</b>	<b>+20</b>	<b>+26</b>

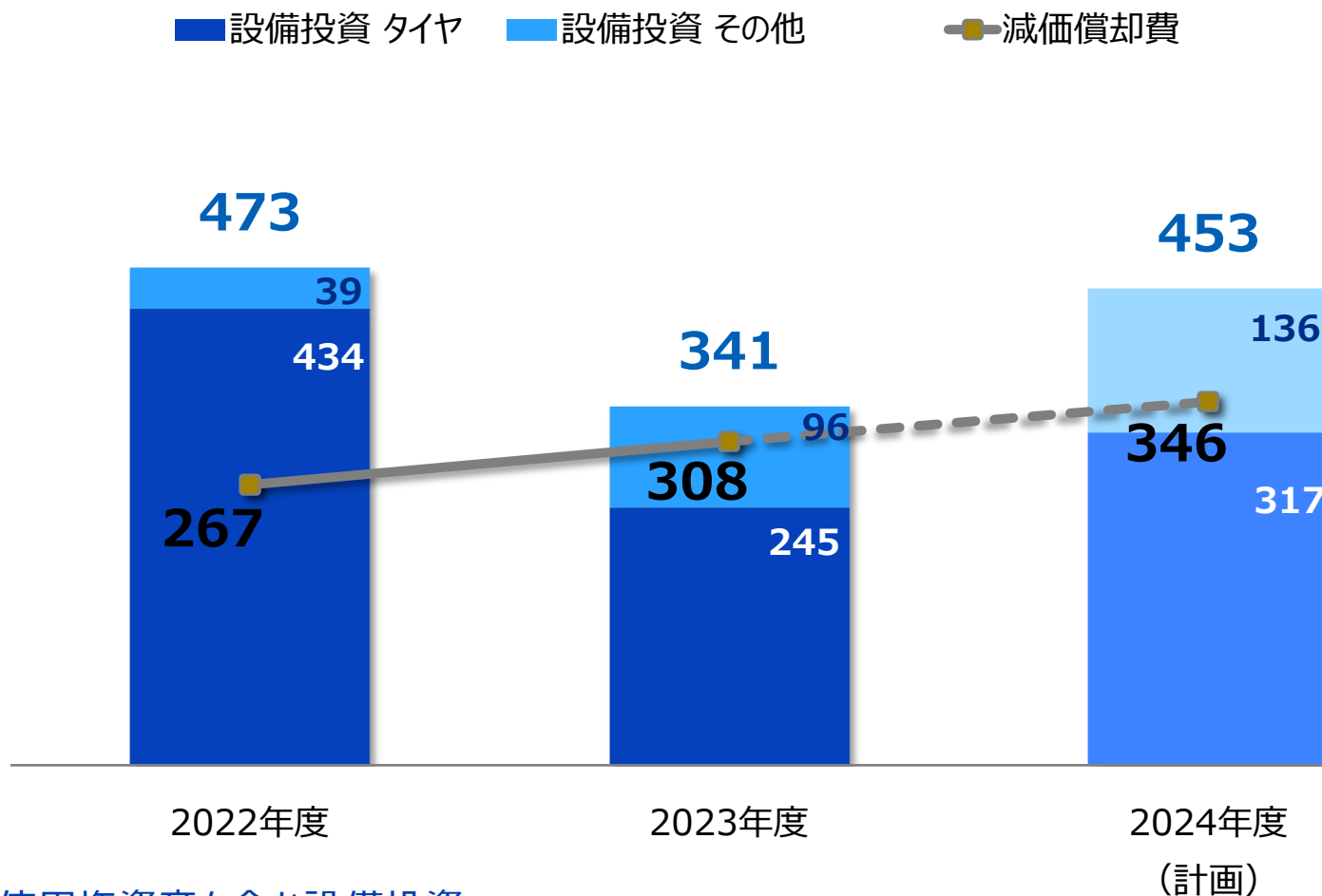
<b>2024年度 1-3月実績</b>
△6
+8
△2
<b>+1</b>

<b>2024年度 1-12月予想</b>
△44
△57
△10
<b>△111</b>

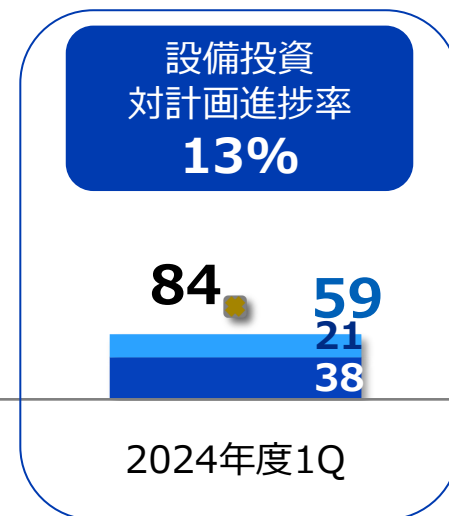
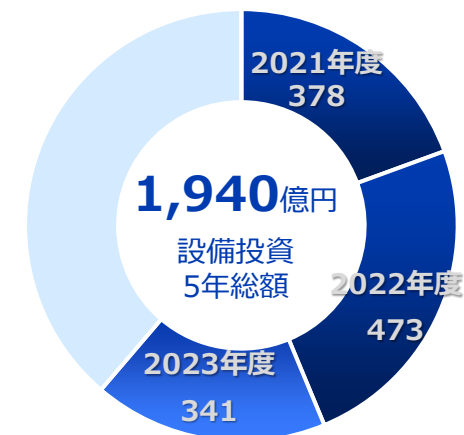
## 設備投資と減価償却費

注) 設備投資には使用权資産に関するものは含みません。減価償却費には使用权資産に掛かる部分を含みます。

(億円)

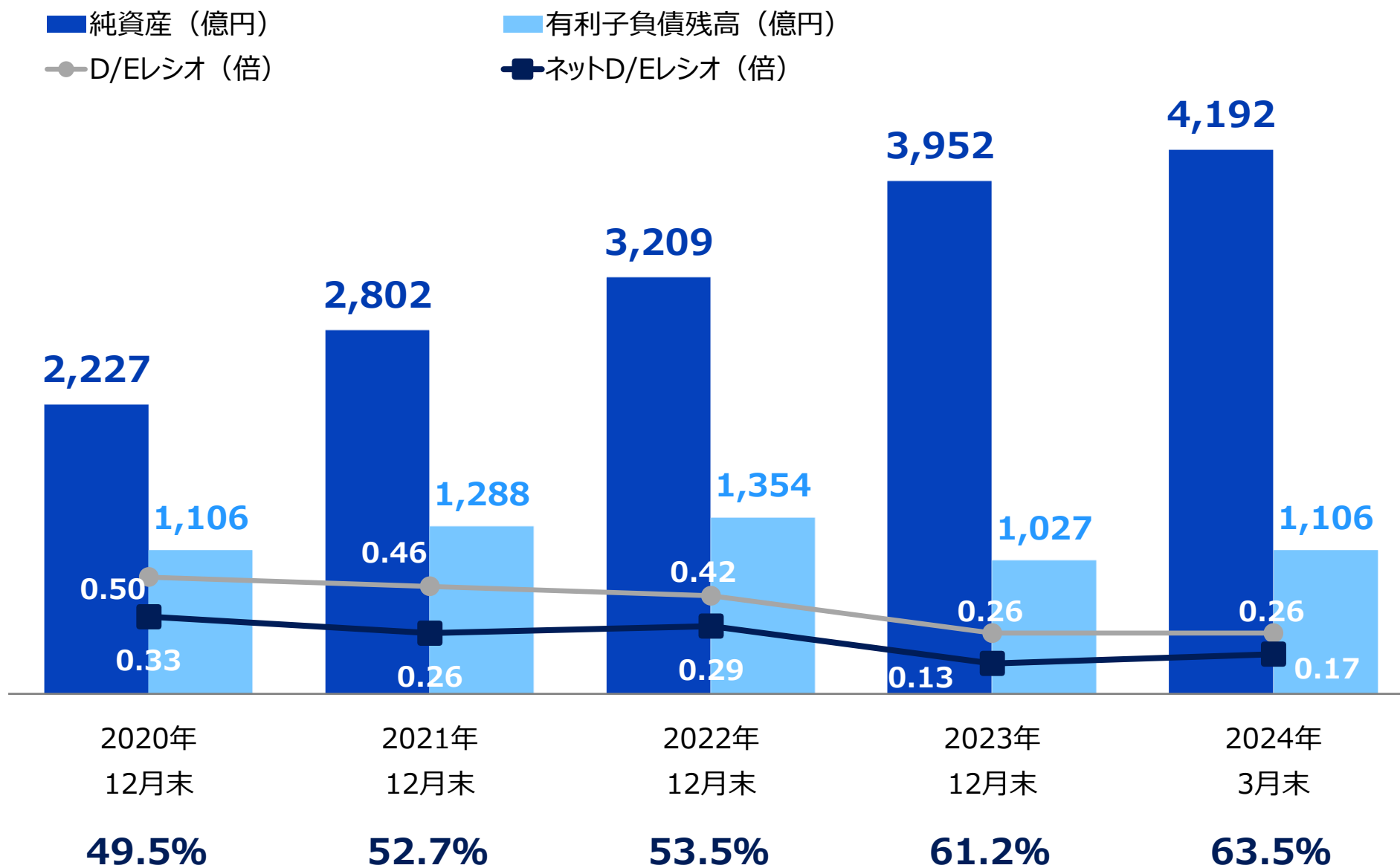


中計'21期間中の設備投資の状況



### [ご参考] 使用权資産を含む設備投資

2022年度	2023年度
480	506



1. 2024年度 第1四半期実績

2. 2024年度 業績予想

**3. トピックス**



**PROXES CF3** (2024年1月発売)  
**低燃費性能とウェットグリップ性能を高次元で両立**



- シリカ分散剤を採用した低燃費コンパウンドにより、低燃費性能、ウェット性能及び耐摩耗性能を高次元で最適化
- シリカ分散剤の一部に天然由来のサステナブル素材を使用

**DELVEX M135** (2024年6月発売予定)  
**ECマース市場が成長、小口配送需要の増加に対応**



- 小口配送が主体の小型トラック用タイヤに求められる耐摩耗性能とウェット性能を向上\*
- 新たに開発したコンパウンドにより転がり抵抗を低減\*

\*当社従来品 (M134) との比較

**サイズラインアップ拡充**

(2024年4月以降順次)

**SUVをターゲットにした主カブランド「OPEN COUNTRY」シリーズ**

**OPEN COUNTRY A/T III**

- コンパクトカーやビジネスバンのカスタマイズニーズの広がりトレンド、また大型SUVのカスタマイズニーズに対応して、サイズラインアップを拡充



**OPEN COUNTRY M/T**

- 大型SUVのカスタマイズニーズに対応して、サイズラインアップをさらに拡充

# OPEN COUNTRY A/T III EV

(2024年2月北米発売)



- EV用LTRを初めて商品化
- 市場から評価の高いデザイン性を維持しながら航続距離の向上\*にも寄与

転がり抵抗  
**23%低減\***

推定航続距離  
**3.9%向上\***

\*当社従来品 (OPEN COUNTRY A/T III) との比較

## Technology

### ■ 配合

転がり抵抗の低減・耐摩耗性能の向上に貢献するコンパウンドをトレッド部に採用

転がり抵抗の低減

耐摩耗性・耐久性の維持

バッテリー性能

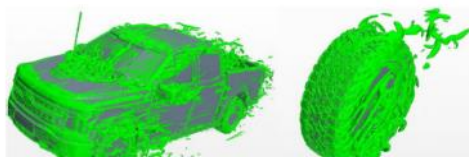
車両重量増加

EV

高トルク・急加速

### ■ 設計

独自の空力シミュレーションによる設計でタイヤ回転時の空気抵抗を低減



デザイン性の維持

### ■ 生産

A.T.O.M.工法\*がタイヤを具現化



# NANOENERGY M151 EV

(2024年6月発売予定)



- 小型EVトラック専用タイヤを開発
- 非対称パターンでトラクション性能と耐摩耗性能を両立

## Sustainable

\*\*当社従来品 (M125ZB) との比較

### ■ 摩耗ライフが向上\*\*

耐摩耗性能を向上\*\*、摩耗ライフが21%向上\*\*



### ■ サステナブル素材の採用

環境に配慮し、ビードワイヤーに再生素材を採用

### ■ 低電費に貢献

転がり抵抗を2%低減\*\*

\* A.T.O.M.工法 : Advanced Tire Operation Module の略称。独自に開発した革新的なタイヤ製造技術



**TOYO TIRES**

2024 ADAC 24h Nürburgring Qualifiers

SP10 クラス ワンツーフィニッシュ



2024 ADAC Nürburgring Langstrecken Serie

Round 1 SP10 クラス優勝



**PROXES**

# ***TOYO TIRES***

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。